

「エピジェネティクス制御による骨造成法開発研究」

エピジェネティクス制御は遺伝子配列そのものを変更するのではなく、遺伝子の発現制御に関わる因子を調節し、遺伝子配列を維持したまま、その発現を制御しようとする試みです。

本研究は、DNA鎖が巻きつくヒストンのアセチル化を制御し、骨形成に関する遺伝子発現を意図的に上昇させることで、骨形成を促進させようとする試みです。

